

委員会行政視察報告書

委員会名	空港等まちづくり対策特別委員会
出席委員等	南 良徳 委員長 梶本茂躰 副委員長 河部 優 委員 和気信子 委員 原 憂子 委員 中尾広城 委員 谷 外嗣 委員 成田政彦 委員 堀口武視 議長 【随員】今橋正能、西本隆志（議会事務局）
実施年月日	平成22年 8月9日（月）
視察先	埼玉県さいたま市
視察項目	さいたま市地球温暖化対策実行計画について
視察結果	
<p>最初に、さいたま市議会局大塚総務課長補佐より歓迎の挨拶を受ける。</p> <p>続いて、さいたま市環境局環境共生部地球温暖化対策課小林課長補佐より、さいたま市地球温暖化対策実行計画について説明を受ける。</p> <p>平成11年4月に国において「地球温暖化対策の推進に関する法律」が施行され、地方自治体においても地球温暖化対策実行計画の策定が義務づけられたことに伴い、浦和市、大宮市、与野市の合併時に「環境基本条例」を策定し、環境についての基本的な考え方や取組の方向性を示した。これを受け平成14年4月にさいたま市地球温暖化対策実行計画が策定された。この計画（前計画）が計画期間満了になったことにより、さいたま市の事務・事業における取組を更に推進するものとして、新たな実行計画を策定したものが、平成20年度を初年度とし、計画期間を平成20年度から平成24年度とする、現さいたま市地球温暖化対策実行計画である。これは平成18年度を基準年とし、平成24年度までに基準年比で温室効果ガス総排出量を5%削減することを目標に、市が直接行う事務・事業を対象に電気使用料の削減、公用車燃料使用料の削減等为目标とするものである。具体的な事業としては「エネルギーを創って減らす」を合言葉に、平成21年度にはさいたま新都心駅の照明のLED化、さいたま市文化センターESCO事業、住宅用太陽光発電設備設置補助事業等を行い、これら継続される事業は、平成22年度にも予算化し、目標を達成することをめざすとのことであった。</p> <p>総括</p> <p>時間的配分の厳しい日程の中、視察が実施されましたが、さいたま市において担当職員より詳細にわたり説明を受け、また各委員からも内容の濃い質疑が行われました。市役所が事業主体となる本計画がどの程度さいたま市全体の温室効果ガス削減に貢献するのか、住宅用太陽光発電の補助申請件数等の質疑応答がなされ、大変参考になるお話を聞くことができました。</p> <p>今回の視察については、大変充実した視察であったと確信しており、十分に所期の目的を達成することができたと思っております。今回の視察により得た内容については今後の市政に反映させ市の発展につなげていきたいと思っております。</p> <p>上記のとおり報告いたします。なお、資料等については、別添のとおりです。</p>	
<p>平成22年 8月11日 空港等まちづくり対策特別委員会 委員長 南 良徳</p>	

委員会行政視察報告書

委員会名	空港等まちづくり対策特別委員会
出席委員等	南 良徳 委員長 梶本茂 副委員長 河部 優 委員 和気信子 委員 原 憂子 委員 中尾広城 委員 谷 外嗣 委員 成田政彦 委員 堀口武視 議長 【随員】今橋正能、西本隆志（議会事務局）
実施年月日	平成22年 8月10日（火）
視察先	東京国際空港（東京空港事務所、新管制塔、D滑走路展望台）
視察項目	羽田空港全体計画（ハブ空港化）について
視察結果	
<p>最初に、国土交通省航空局空港部近畿圏・中部圏空港政策室杉田課長補佐の案内で、国土交通省東京航空局東京空港事務所に訪問、空港事務所会議室にて東京空港事務所小野総務課長より歓迎の挨拶、東京国際空港（羽田空港）拡張工事、D滑走路建設の経過等について説明を受ける。</p> <p>羽田空港は航空需要の拡大に伴い、昭和59年より平成18年まで3期にわたり沖合展開事業が行われてきた。しかし、処理能力がすでに限界に達し、発着容量の制約解消が急務となり、再拡張事業の早期実施が必要ということでD滑走路を建設することとなった。D滑走路は多摩川河口域の通水性を確保するため、一部を栈橋構造とし、世界で唯一の埋立・栈橋工法のハイブリッド構造となったのが特徴であるとのことだった。また再拡張事業の一環としてD滑走路への視認確保を目的として新管制塔も建設された。（新管制塔高さ115.7m、旧管制塔高さ77.6m）</p> <p>会議室での説明後、徒歩で新管制塔を視察、現地で東京空港事務所担当者より、空港各施設の説明を受ける。その後、国土交通省空港整備事務所のマイクロバスにてD滑走路展望台を視察。空港整備事務所担当者よりD滑走路の概要、栈橋部の工法等詳細な説明を受けた。</p> <p>総括</p> <p>時間的配分の厳しい日程の中、視察が実施されましたが、東京国際空港（羽田空港）において担当職員より詳細にわたり説明を受け、また各委員からも内容の濃い質疑が行われました。D滑走路建設の際、栈橋部分と埋立部分のコストの比較等の質疑応答がなされ、大変参考になるお話を聞くことができました。</p> <p>今回の視察については、大変充実した視察であったと確信しており、十分に所期の目的を達成することができたと思っております。今回の視察により得た内容については今後の市政に反映させ市の発展につなげていきたいと思っております。</p> <p>上記のとおり報告いたします。なお、資料等については、別添のとおりです。</p>	
<p>平成22年 8月11日 空港等まちづくり対策特別委員会 委員長 南 良徳</p>	